

件名：【新座市2020メール ◇◆広報にいざ10月号/ホストタウンフレーム切手販売/おすすめサイト◆◆】

＝新座で結ぼう 世界の絆＝

新座市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で射撃の競技会場、ブラジルの事前トレーニングキャンプ地、ホストタウンです。

こんにちは！新座市オリンピック・パラリンピック推進室です。

本日9月24日は、オリンピックの開会式まであと302日、パラリンピックの開会式まであと334日です。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で、東京2020大会の開催は2021年7月23日に延期されました。

新座市では新型コロナウイルスへの対応を最優先に実施しながら、来夏の大会開催に向けて、引き続き気運醸成に努めていきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。

このメールマガジンでは、東京2020大会の関連情報や新座市の取組などをお知らせしていきます。

【新座市2020メール Vol.26】

■□ [今月のトピックス] ■□■□■□■□■□■

[1] ブラジルを知ろう～スポーツ編～

[2] ホストタウンフレーム切手を販売

[3] 国際交流員の学校訪問再開

[4] 出前講座「ブラジルを知ろう！」をご利用ください

[5] 2020おすすめサイト

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■

[1] 広報にいざ紙上講座「ブラジルを知ろう！～スポーツ編～」

国際交流員のグスタヴォ・ラモスさんによる紙上講座「ブラジルを知ろう」。10月号は、スポーツの秋、そして東京2020+1（ニーゼロニーゼロプラスワン）に向けてスポーツ編です。

ブラジルのスポーツといえば真っ先に浮かぶのはサッカーですが、ほかにも強い競技があります！おなじみの球技や東京2020大会で初のオリンピック競技となるスポーツなど、グスタヴォさんの楽しい解説をお楽しみに！

関連する動画や本も紹介しています。ぜひご覧ください！

※10月号は「ガスの部屋」をお休みします。

<広報にいざをアプリで読むことができます>

スマートフォン・タブレット端末用アプリ「マチイロ」で広報にいざを読むことができます。利用方法等はこちらのURLからご覧ください。

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/apri/matiiro.html>

<「ガスの部屋」のバックナンバーをこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/brasil-cir.html>

<「ウィークリー・ガス」もチェック！>

新座市公式フェイスブックでは、毎週金曜日にガスの週刊投稿「ウィークリー・ガス」を発信中です。ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/niiza.saitama>

<「ウィークリー・ガス」のバックナンバーはこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/brasil-cir2.html>

[2] ホストタウンフレーム切手を販売します

新座市は11月1日で市制施行50周年を迎えます。50周年を記念するとともに、東京2020

大会に向けてブラジルホストタウンを更に盛り上げるため、10月1日（木）から「新座市×ブラジル連邦共和国 ホストタウンフレーム切手」を販売します。新座市の野火止用水やブラジルのイグアスの滝など代表的な名所、市のイメージキャラクター「ゾウキリン」などがデザインされた、きれいで明るい仕上がりのフレーム切手です。この機会にぜひお買い求めください！

販売開始 10月1日（木）

1シート 84円切手が5枚付いて、販売価格920円（税込み）

販売場所 新座市役所総務課（本庁舎4階）、新座市内郵便局（10局）、東京中央郵便局、大手町郵便局、郵便局のネットショップ（ネットショップから購入する場合は、販売価格に郵送料が加算されます。）

お問合せ 新座市総務課（電話 048-481-6752（直通））

[3] 国際交流員の学校訪問再開！

市オリンピック・パラリンピック推進室では、国際交流員のグスタヴォさんと推進室職員が市内小・中学校を訪問し、オリンピック・パラリンピックを知っていただくゲスト授業を行っています（学校の申込みに応じて実施しています。）。昨年度（令和元年度）は小学校6校で実施しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響による臨時休校などでスタートが遅れましたが、去る9月15日、東野小学校6年生を対象に今年度初めての学校訪問授業を行いました。ブラジル選手団の事前トレーニングキャンプの通訳などのために来日したグスタヴォさんは、日本に来た理由や国際交流員としての仕事の内容をスライドを使って説明しました。その後、ブラジルの文化やポルトガル語のあいさつを紹介し、児童たちは興味深く聞いていました。

グスタヴォさんのゲスト授業は、子供たちが国際理解や多様性を学び、海外に目を向ける貴重な機会となっています。

<学校訪問の様子はこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/brasil-cir-gakkouhoumon.html>

学校訪問に関する問合せは、市オリンピック・パラリンピック推進室まで（048-424-4687（直通））

[4] 出前講座「ブラジルを知ろう！」をご利用ください

新座市快適みらい都市づくり出前講座は市職員による出張講座です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため受付を中止していましたが、7月6日から受付を再開しました。

オリンピック・パラリンピック推進室では「ブラジルを知ろう！」と「東京2020大会「SAITAMA(さいたま) PRIDE(プライド) アンバサダー」になろう」のメニューを展開し、市民の皆さんに東京2020大会やブラジルを知っていただく取組を進めています。

「ブラジルを知ろう！」では平成31年4月に来日した国際交流員のグスタヴォ・ラモスさんが日本語でブラジルの文化や食などを楽しく紹介します。ブラジルの公用語であるポルトガル語で簡単なあいさつなども学ぶことができます。

<出前講座についてはこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/syougai-demae/>

※感染拡大防止策として、当面、市公共施設を会場とする場合のみ受け付けています。必ず注意事項をお読みください。

<グスタヴォさんの講座の様子はこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/demaekouza.html>

[5] 2020おすすめサイト～日伯協会～

外務省公式サイトがリンクしているサイトの中から、一般財団法人日伯協会の公式サイトを紹介します。

日伯協会は、1926年（大正15年）創立、日本で初めてブラジルとの2国間交流関係を結んだ団体です。ブラジルとその周辺諸国へ大量の移住者を送り出した昭和初期に、全国各地から神戸に集合してきた移住者保護のために国立移民収容所開設に尽力し、戦前・戦後の移住者支援に貢献してきました。現在は、日本とブラジルの交流促進のため積極的な活動を展開しています。（同協会公式サイトから引用）

協会事務局は、神戸市にある「海外移住と文化の交流センター」内にあります。昨年12月に「にいざほっとぷらざ」ギャラリーで「ブラジル写真展」開催した際は、同協会から日本人移住の歴史などに関するパネルをお借りして展示しました。

<日伯協会の公式サイトはこちらから>

<http://www.nippaku-k.or.jp/>

<ブラジル写真展の様子はこちらから>

<https://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/20200603parashashintenn.html>

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。
次回の配信をお楽しみに！

【新座市2020メール Vol. 26 2020. 9. 24発行】

202020202020202020202020202020

【配信停止はこちらから】→https://www.city.niiza.lg.jp/mailmaga/web_sec.php?check

※このメールに返信することはできません。

[発行元・問合せ]

新座市オリンピック・パラリンピック推進室

新座市ホームページ：東京2020オリンピック・パラリンピック特設ページはこちら→

<http://www.city.niiza.lg.jp/site/tokyo2020xniiza-oly-para/>

202020202020202020202020202020